



2021年3月10日

各位

会社名 アゼアス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 斉藤文明  
 (コード番号: 3161 東証第二部)  
 問合せ先 取締役常務執行役員 羽場恒彦  
 (TEL. 03-3865-1311)

## 業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2020年11月26日に公表いたしました2021年4月期通期の業績予想および2020年6月12日に公表いたしました2021年4月期配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## ●業績予想の修正について

2021年4月期通期連結業績予想数値の修正 (2020年5月1日～2021年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 9,711	百万円 397	百万円 474	百万円 291	円 銭 51.77
今回発表予想 (B)	10,002	710	794	491	87.23
増減額 (B - A)	291	313	319	199	
増減率 (%)	3.0	78.8	67.3	68.5	
(ご参考) 前期実績 (2020年4月期)	9,941	466	477	316	56.24

2021年4月期通期個別業績予想数値の修正 (2020年5月1日～2021年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,845	百万円 356	百万円 386	百万円 243	円 銭 43.21
今回発表予想 (B)	8,229	677	712	453	80.64
増減額 (B - A)	383	321	326	210	
増減率 (%)	4.9	90.2	84.5	86.6	
(ご参考) 前期実績 (2020年4月期)	8,077	409	429	288	51.23

## 修正の理由

### (1) 連結業績予想の修正理由

通期連結業績の売上につきましては、新型コロナウイルス感染症による需要のほか、11月に3年ぶりに発生が確認されて以来、各地に広がり、過去最大の被害水準となった鳥インフルエンザへの対応に伴う需要の増加が主な要因となり、防護服・環境資機材事業の売上高は、これまでの予想を上回る見込みです。防護服を中心とした感染対策用資材の需給はタイトな状況が続いてきましたが、当社としては、引き続き原材料および製品在庫の確保に努め、従来からの一般産業分野に対して商品を安定的に供給するとともに、緊急の社会的需要に対応できるよう、取り組みを進めてまいりました。一方、アパレル資材事業につきましては、業界の低迷を背景に、売上高は予想を下回る見込みであり、連結売上高は、前回発表予想額に対して291百万円の増収にとどまる見込みです。利益につきましては、防護服・環境資機材事業の業績が貢献したほか、感染症拡大の環境下で、営業活動が制約を受け、営業関連の経費は減少したため、前回発表の業績予想より、営業利益で313百万円、経常利益で319百万円、親会社株主に帰属する当期純利益で199百万円上回る見込みです。

### (2) 個別業績予想の修正理由

修正理由につきましては、(1)の 連結業績予想の修正理由と同様の理由です。

## ● 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	円 銭 0.00	円 銭 12.00	円 銭 12.00
今回修正予想		25.00	25.00
当期実績	0.00		
前期実績 (2020年4月期)	0.00	20.00	20.00

### 修正の理由

当社は、株主への利益還元を第一として配当原資確保のための収益力を強化し、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。この基本方針と、本日公表の通期業績予想を踏まえて、期末配当予想につきましては、当初予想に対して1株当たり13円を増額し、25円に修正いたします。

(注) 上記に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上